

沖縄県警察主催「防犯フェア 2025」で防犯注意喚起実施
～悪徳な災害便乗商法や特殊詐欺の注意喚起を呼びかけ～

日本損害保険協会九州・沖縄支部 沖縄損保会（会長：大同火災海上保険株式会社 取締役常務執行役員 山里 武司）では、10月13日（月・祝）にイオンモール沖縄ライカム（北中城村）で開催された、沖縄県警察主催の「防犯フェア2025」に参加し、犯罪の発生を抑え、全ての人が安全で安心して暮らせる地域社会を実現するため、災害便乗商法等に関して注意喚起しました。

開会挨拶では、沖縄県警察本部 垣花 聡 生活安全部長から「本日のイベントは、県民の防犯意識を高め、犯罪のない、犯罪に巻き込まれない社会を作る目的で開催している。県民、学校、関係機関・団体が一丸となって取り組むちゅらさん運動へのご理解・ご協力をお願いする。」と挨拶がありました。

その後、沖縄県警察や関係団体とともにイベント参加者やモールの来客者に対し、悪徳な災害便乗商法および SNS 型投資詐欺をはじめとした特殊詐欺について、チラシを配布し注意を呼びかけました。

沖縄損保会では、沖縄県警察をはじめとする関係団体とともに、災害便乗商法等の注意喚起を通じて、地域の安全・安心の向上に資する活動を推進してまいります。



会場の様子



配布したチラシ